

令和5年度前期始業式 式辞

令和5年4月10日

皆さん、おはようございます。高志高校の校長、山内悟です。

高校・中学校合同の始業式に当たり、高校・中学校の校長を代表して、私が皆さんに話をさせていただきます。

学校において「マスク着用を求めないことを基本とする」ことになりました。基本的に、今後、私たちが皆さんに対して、マスクの着脱を強制することはありません。皆さんは、これまで同様基本的な感染対策をとるのとあわせて、マスクの着脱に関しては時と場合に応じて適切な判断をして、快適な学校生活を送るように心がけてもらいたいと思います。

今、私はこうして壇上にいますが、皆さんとの距離は十分に保たれているので、皆さんに不安を与えることはないだろうという判断のもと、マスクを外して話をさせていただきます。

3日前、高校・中学校のそれぞれで入学式がありました。高校では250名、中学校では90名の新生を迎えました。そして今日は、約1,000名の全校生徒が、ここに集まっています。

昨年度までは、コロナ禍のせいで、集会は高校・中学校が別々の場所で行っていました。各教室にいながらオンラインで行う集会も多くありました。オンラインの良さはもちろんありますが、今日は、集合型の醍醐味を感じてもらいたいと思います。

本校は、中学校・高校が併設されている学校です。中1から高3までの6つの学年が集まるとこれほどの大きな集団になるということを、まず認識しておいてください。「この集団が思いを一つにして動くことができるとしたら、ものすごく大きなパワーを感じられるのだろうか。」あるいは、「ここには様々な考えを持った多様な人たちが集まっているはずで、それが一つにまとまるというのは並大抵のことではないだろうか。」など、いろいろなことを思います。

いずれにしても、最大年齢差が5歳で、県内・県外の様々な地域から、多種多様なバックグラウンドを持った生徒たちが集まっているということが、高志高校・中学校の大きな特徴です。新しい学校、新しいクラスという環境になった今日からの学校生活の中で、自分の周りにはユニークな人たちとの出会いや交流を楽しんでください。そして、同じ考え、同じ趣味の人だけの狭いコミュニティにしようとするのではなく、自分と違う人と積極的に関わろうとしてみてください。ちょっと勇気のいることですが、その方が、自分の世界を豊かにしてくれるだろうと思います。

逆に言うと、人と同じであろうとする必要はありません。先日、米谷清和先生という方にお会いしたときの話をします。米谷先生は現在75歳くらいの画家でいらっしゃいます。福井県生まれで高志高校を卒業され(第17回卒業生)、東京の多摩美術大学に進まれました。大学院修了後は、画家と大学教員の二刀流で、日本画の世界で活躍してこられました。先日、県立美術館でやっている「今を生きる、時代を描く」という展示を見に行つたとこ

ろ、幸運にも米谷先生ご本人にお会いすることができました。米谷先生は、高志高校生時代のことを思い出しながら、担任の先生から言われたことを嬉しそうにお話しされていました。「高志高校は本当にいい学校だった。自分の成績が下がってきて落胆している親に対して、担任の先生は『将来のこと（画家になること）を決めている子どもさんのことを誇りに思うべきだ』と言ってくれた。」と米谷先生はおっしゃるのです。やりたいことは人それぞれ違うのですから、そこに向かう道のりも人によって違うはず。なのに、人と同じことを考え、同じようなことしかしていなかったら、目標にたどり着くのが困難になってしまうのではないのでしょうか。

私が先ほど、ユニークな人との出会いや、自分と異なる人との関わりをとったのは、その人たち独特の着眼や発想から刺激を受けることで、「自分だったらこうする」という独自の目標を設定するのに役立ててほしいと思うからです。

ところで、この3月に行われた野球の世界大会WBCで大谷翔平選手が大活躍しました。皆さんは、彼が高校時代に作った目標達成シートのことを知っているでしょうか。

9×9の81マスが書かれた紙を思い浮かべてください。その中央に、自分がかなえたい夢を書きます。それを囲む8つのマスには、夢をかなえるために必要な要素を書きます。大谷選手は、高校1年の冬に、「ドラ1 8球団」という夢を中央に、「体づくり」や「メンタル」、さらには「運」といった8つの項目を周囲のマスに書き込みました。

さらに外側のマスには、先ほどの8つの要素を獲得するために必要な目標を、具体的な行動で書き表します。大谷選手は、「体づくり」という項目に対して、「柔軟性」「スタミナ」「FSQ90kg（フロントスクワットで90kg持ち上げる）」などの目標を挙げました。

このシートは、後ほど教室で担任の先生に掲示または配付してもらいますので、大谷選手が高校1年生の時にどのような目標設定をしていたかを見て、何かを感じ取ってもらいたいと思います。できれば、ただ賞賛や憧れの念を抱くだけでなく、彼の考え方を参考にしながら、自分自身の目標設定に役立ててもらえると嬉しいです。

今日から令和5年度が始まります。皆さんは、1年後どのような姿になっていたいのですか。どのような状態になっていたいのですか。そのためにどのような目標をクリアしていくとよいか、を今考えましょう。そして明日からは、その一つ一つの目標を達成するための行動を起こしましょう。

私たちは、皆さんに、社会の変化に翻弄される人ではなく、社会の変化に柔軟に適応できる人になってほしい、さらには、社会に変化を巻き起こす人になってほしい、と考えています。

そのために、皆さん一人ひとりが、将来どの分野でどのような変化をもたらそうと考えるのか、目標をしっかりと定めることが重要です。私たちは、皆さんがその目標の実現に向けて一生懸命努力しようとする、挑戦しようとするを精一杯応援します。

学校生活においては、学習、部活動、探究活動、生徒会活動、その他何でもかまいません。情熱を傾けることのできる、自分だけの対象を見つけて、果敢に挑戦する1年にしてください。